



新聞から「ふわふわ」言葉を探し「言葉の貯金箱」に入れていく児童たち＝23日、福井市安居小

心に響く見出し発見

安居小で公開授業 思いやり学ぶ

NIE(教育に新聞を)実践指定校の福井市安居小で23日、公開授業が行われた。1～3年と特別

支援学級で新聞を活用した授業を展開した。

3年の谷野美笛(みづの みづはな)教諭は「相手を思いやり親切に」をテーマに道徳の授業をした。クラスで大切にしたい「ふわふわ言葉」を新聞の見出しから見つけ、思いやりの心とは何かなどを考えさせた。

児童は4人グループになり、見出しや広告から「いいね!」「ありがとう」「友達」といった言葉を見つけると切り抜いて、「チャリン」と言いながら「言葉の貯金箱」に入れていった。貯金箱にたまった言葉を相談しながらワークシートに貼り合わせて、グループごとに2学期のクラス目標を完成させた。



野村真央さん(8)は「新聞の中からふわふわ言葉を見つるのは難しかったけど、いろんな言葉を組み合わせると目標を考えるのは楽しかった」と話していた。

このほか2年生は秋にまつわる記事や思い出を書いた付箋を貼ったポスターを作り紹介し合った。1年生は新聞紙や木の実を使って秋祭りの衣装を、特別支援学級はパソコンで「〇〇の秋新聞」を作った。(黒田美紗)